

4. 平成24年産入札取引に係る平成25年度協会業務・財務資料

(大豆入札取引業務部分抜粋)

平成25年3月22日開催の平成24年度第3回評議員会及び第3回理事会において、平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）事業計画及び収支予算案を議決した。

平成25年度事業計画

第1 事業計画

国産大豆については、その振興を図るための施策の一環として引き続き入札取引の透明化・適正化の観点から中立的な第三者機関が入札取引の実施主体となって市場を開設するとともに、その効率的な入札結果の迅速な公表が求められている。

このような情勢のもとで、前年度に引き続き国庫補助事業として大豆価格形成安定化事業を実施する。

第2 会議の開催

- 1 大豆入札取引委員会
- 2 取引監視委員会

第4 大豆価格形成化事業（継続、国庫補助事業）

国産大豆の入札取引の実施主体として市場を開設し、入札取引の透明化・適正化を図るため、次の事業を実施する。

- ① 大豆入札取引委員会の開催
- ② 取引監視委員会の開催
- ③ 入札の実施
- ④ 入札結果の公表
- ⑤ 指標価格の作成・提供
- ⑥ 入札取引を円滑に実施するための情報の提供

平成25年度 大豆価格形成安定化事業予算

公益財団法人日本特産農産物協会第3条2項で「協会は、前項に規定するもののほか、国産大豆について、入札によって産地品種銘柄毎の品質評価が反映された価格形成を行い、その円滑な流通を促進することにより、良質な国産大豆の需要の拡大を図り、もって国民への食料の安定供給に寄与することを目的とする。」と規定され、平成25年度収支予算書に大豆価格形成安定化事業に係る事項を含めて収支計画が示されている。<http://www.jsapa.or.jp/infomation/pdf/h25ShushiYosan.pdf>